

特別支援教室の便利

5月号

杉並区立高井戸第四小学校
特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

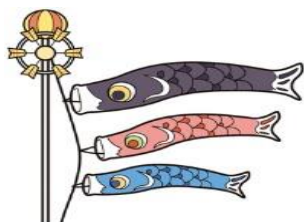
葉桜のやさしい緑と、澄み切った心地良い空気が毎日のエネルギーになる季節になりました。先日は、保護者研修会にご参加いただき、ありがとうございました。

新年度が始まり、約1か月が経ちました。少しずつ新しい学級や教員、クラスメイトに慣れてきたころでしょうか。子供たちは、様々な環境の変化がある中で、頑張り緊張が続き、知らず知らずのうちに心身に疲れがたまっているかもしれません。ご家庭でのお子さんの様子を注意深く見守ってあげてください。また、気になることがありましたら、ご相談ください。

高四小エリア5月の予定

◇5月14日（水）～16日（金）、その他指導日の放課後

保護者個人面談（今年度新規入室以外の方）



- ※ 面談日時は、個別にご連絡しております。
- ※ この期間は、指導はお休みにさせていただきます。
- ※ たかし教室からお電話で連絡をさしあげる場合がございます。



なお、お電話がつながらなかった場合は留守電にメッセージを残させていただきます。

また折り返しご連絡をいただける場合は、履歴に残された電話番号にリダイヤルせず、改めてたかし教室直通の電話番号（03-5336-9522）にかけていただきますよう、よろしくお願いします。

※リダイヤルしていただいた場合、電話回線の都合でことばの教室につながる設定となっております。
ご不便をおかけ致しますが、どうぞよろしくお願いします。

板書の苦手、運動の苦手、どうして？

通室してくるお子さんの中に、板書や球技などが苦手だと教えてくれる人がいます。
苦手さの原因はどこにあるのでしょうか？

その要因の一つとして、眼球運動の苦手さが考えられます。眼球の可動域や動きの滑らかさなどに課題があると、様々な活動での困り感につながる可能性があります。

そこで特別支援教室では、ビジョントレーニングを児童の実態に応じて行うことがあります。眼球運動は目の周りの筋肉を鍛えることにより、向上すると考えられているからです。

以下はビジョントレーニングとしての具体例です。

- ①追従性眼球運動のトレーニング（見たいものに視線を合わせる練習）→線なぞりや迷路など
- ②跳躍性眼球運動のトレーニング（見たいものを早く正確に探し出す、ピントを合わせる練習）→点つなぎなど
- ③視空間認知のトレーニング（目で見たまものの情報を脳で正しく認識する練習）→言葉探し、間違い探しなど
- ④目と体の協応性を高めるトレーニング（視覚情報に応じた動きをする練習）→後出しじゃんけん、まねっこゲームなど

このような活動を通して、眼球の動きや視認知力を高めていきます。また、それらの力が育つことによって、図形を正確に認識する力が伸びて書字や板書の苦手さが軽減したり、手先の操作性などが高まり作業実行能力が向上したりするなどの効果もあると言われています。

【参考書籍】「1日5分！はじめてのビジョントレーニング（わくわくパズル&ゲーム）」北出勝也、株式会社ナツメ社、2023



5月の学習予定

◎小集団学習「みんなの時間」

「ストーリーキューブ」

- ・絵柄を手掛かりにして短い時間でお話を想像することができる。
- ・自分の想像、作ったお話を聞き手に分かりやすく伝えることができる。
- ・話の前後がつながるように場面を設定することができる。

「はたらく心」

- ・相手の心を推測する力を身に付けることができる。
- ・相手の表情や行動、態度を見て考えることができる。
- ・相手の気持ちを理解したら、それを自分の言動に活かすことができる。

「チームで協力する運動」

- ・状況に合わせて自分の体の使い方、力の入れ方を考えてコントロールする。
- ・チームの中で相談したり協力したりする。
- ・ルールのある運動を通して、友達との関わりを楽しむ。

「文字ことばづくりをしよう」

- ・ひらがなやカタカナを使って言葉をつくることができる。
- ・ルールを理解して活動に取り組むことができる。
- ・友達と協力して活動することができる。